

つきみ野街づくり構想

つきみ野まちづくり委員会 2007年4月

この街づくり構想は、これまでの委員会の活動を通じて得た「街づくりに関する意見」を反映し、まとめたものです。

街づくりのテーマ 「未来へつなぐ、つきみ野のまち」

目標とする「つきみ野のまち」の姿

住宅・建物・敷地

[目標]
多世代の家族が共に暮らせるまち
開発当時から住む家族、新しく住み始める家族、多世代にわたる家族が、共に暮らすことのできるまちをめざします。

緑・川・庭

[目標]
身近な緑を楽しめるまち
戸建て住宅の庭木や生垣、集合住宅や店舗の植栽、並木道、公園など、緑を楽しめる街並みをめざします。

安全・安心

[目標]
安心して暮らせる安全なまち
安心して暮らし続けることのできるまちであるように、みんなが力を合わせ、防犯・防災・交通安全などの活動に取り組むまちをめざします。

《街づくりの方針》 目標像を実現するために、どう進めていく？

戸建て住宅地の住環境を守る
つきみ野は、戸建て住宅を中心にまちがつくられてきました。つきみ野の住宅地の特徴である落ち着いた住環境や街並み景観、ゆとりある宅地をこれからも守りつづけます。

多世代が暮らすまちをつくる
子育て世代も住めるまちであるために、新しく建てられる住宅のあり方についても考えなくてはなりません。
集合住宅については、地域内のつきみ野の住環境に調和した事例も多くあります。これらの良い事例を参考に、より良い集合住宅建築のあり方について考えていきます。
比較的小さな敷地に建てられる戸建て住宅は、つきみ野の街並みと調和する工夫があって欲しいです。

様々な施設と住宅が共存できるまちを目指す
つきみ野には、住宅以外の施設もあります。駅周辺や幹線道路沿いなどに立地する店舗その他さまざまな施設のあり方についても、考えていく必要があります。

住宅や店舗等の緑化を進める
住宅地の庭や樹木、生垣や植栽などは、つきみ野住宅地の魅力を高める大切な資源です。今ある緑を保ち、さらに緑化を進めていきます。

緑や水を感じさせる場をみんなで育てる
街路樹や公園、目黒川など緑と水を感じさせる施設は、つきみ野地域の財産です。利用する人、周辺に住む人がその価値を共有し、楽しめるものとなるよう、住民みんなで育てていきます。

安全なまちを目指し、住民がみんなで取り組む
安全な暮らしのためには、防犯や交通安全への取り組みが大切となります。すでに地域ではこれらの活動も行われていますが、より多くの住民が参加することでより安全な暮らしを実現していきます。

災害時の不安をへらす
災害への対策は、それぞれの家庭での備えが基本ですが、それとともに災害時にはご近所同士のたすけあいも不可欠となります。家庭でも、地域でも、災害に備え、対応できるまちを目指します。

《活動の例》 どうやって実現していけばいいか？

・隣地境界からの距離など、互いのルールを設ける
・(戸建て住宅の)最低限確保すべき敷地面積を設定する

・計画的に整備された低層住宅地の街並みと調和する住宅の建築を促す。
・街並みと調和した集合住宅をモデルとし、これに準じた建築を促す
・建物の色彩など景観についての基準を設ける

・店舗やその他の施設と、隣接する住宅とのルールを設ける

・戸建住宅地の緑化を積極的に評価し、顕彰する
・良好な集合住宅緑化のモデルに準じた建築を促す
・幹線道路沿いの店舗の緑化を評価し、顕彰する

・住民が積極的に参加して、街路樹や公園のあり方を検討し、行政と協働する
・目黒川の過去・現在・未来を調査する

[既に取り組んでいること]
「つきみ野の街路に名前(愛称)を！」(まちづくり委員会)
・駅前通り 鶴舞通り
協働事業「道路環境美化ボランティアの里親制度」(まちづくり委員会)
・鶴舞通り(駅前～野球場区間)の定期清掃・花の植え付け
さくらの散歩道公園愛護会
・定期清掃・花壇の整備、管理

・防犯パトロールにより多くの住民が参加し、防犯効果を高める。
・交通安全の確保については、周辺の住民への影響を考えるなど、住民相互の理解と話し合いを進める。

[既に取り組んでいること]
防犯対策委員会の活動(自治会・有志の住民・PTA)：防犯パトロール・青色パトロール車の運行
まちづくり委員会交通安全プロジェクト(まちづくり委員会)
・車の抜け道問題に対する検討・警察等への働きかけ
通学路安全点検(PTA・自治会)

・家庭での耐震対策を進める。(住宅耐震・家具転倒防止等)
・日頃からたすけあえる近隣関係をつくる。
・組単位で防災対策について、話し合い、点検する。
・防災訓練を重ね、イザという時に備える。

[既に取り組んでいること]
自主防災会・自主防災対策委員会(自治会)
・防災訓練 防災機材の整備・点検